

タイ語の名詞修飾表現

神田外語大学
kiyoko@kanda.kuis.ac.jp
高橋清子

Prosody and Grammar Festa 2
対照言語学プロジェクト合同発表会
国立国語研究所 2018年2月17日

本発表の骨子

- 名詞修飾表現の分析に関わるタイ語の特徴
修飾される要素が先、修飾する要素が後
名詞句のみで名詞述語が成り立つ
文法範疇は存在しない
句、節、文といった統語単位が曖昧
統語的基準による品詞分類
多義語/多機能語が多い
生産的な語形成の方法は(重複を含む)合成
- タイ語の名詞修飾要素の分類
- 名詞修飾要素の機能特性の違い
- 名詞修飾表現の体系化

2

修飾される要素が先、 修飾する要素が後

名詞修飾表現の構成素の基本的な並び順は
「主名詞(句), 修飾要素」。

phaasàa thay
言語 タイ
'タイ語'

量詞を修飾要素とする形式
「量詞, 主名詞(句)」は例外的。

thúk thii
各々の 土地
'各地'

3

名詞句のみで名詞述語が成り立つ

(1) *(nii) nángsǔw*
(これ) 本
'(これは)本だ'

繫辞copula(動詞*pen*, 接続詞*khuu*)は非必須。
繫辞を使うと、話者の認定や言い直しの表現になる。

(2) *(nii) pen nángsǔw*
(これ) 繫辞 本
'(これは)本だ[と認定する]'

(3) *(nii) khuu nángsǔw*
(これ) 繫辞 本
'(これは)[即ち]本だ'

4

文法範疇は存在しない

- 動詞には定形性finitenessの形態的区別(定動詞/不定動詞の区別)がなく、定形性の必須標識もない。
- 名詞には定性definitenessの形態的区別(定名詞/不定名詞の区別)がなく、定性の必須標識もない。
- いわゆる文法範疇概念の値の明示化は必須ではない。規則的に表し分けなければならない機能意味の体系(文法範疇grammatical categories)は存在しない。

5

句、節、文といった統語単位が曖昧

- 動詞には必須項がない。定形性の必須標識もない。
- しかしアスペクト標識やモダリティ標識が生起し得ない節は断定性assertivenessの程度が低い「非定形non-finite」(Givón 1990: 852–864; Bisang 2007: 118)と考えてよい。
- 断定性/定形性が高く文らしさの度合いが高い節にはアスペクト標識やモダリティ標識が無理なく生起する。

6

統語的基準による品詞分類 (ประสิทธิ์รัฐสินธุ์ 2010)

1. 動詞: +[NEG__]
2. 名詞: -[NEG__], +[__V], +[V__], +[P__], +[__AJ]
3. 形容詞: -[NEG__], +[N__]
4. 前置詞: -[NEG__], {[+__N] / +[__V]}
5. 副詞: -[NEG__], {[+__V] / +[V__]}
6. 接続詞: -[NEG__], {[+N__N] / +[V__V] / +[P__P]}
7. 量詞: -[NEG__], +[__N], -[V__], -[__V], -[P__]
8. 小辞: -[NEG__], +[//__], +[__#]

7

多義語/多機能語が多い

例えば、指示詞 *nii* は3つの品詞にまたがる。

- (a) 名詞 ‘これ’
นี่ก็เท่ากับว่าฉันผิดใช่ไหม
‘これ’はつまり私が間違っても同然と言いたいでしょ?’
- (b) 形容詞 ‘この’
หนังสือนี้ไม่ใช่ของฉัน
‘この’本は私のではない’
- (c) 主題を標示したり聞き手の興味を喚起したりする小辞
รู้สึกว่าคุณเด็กในกรุงเทพฯ ทำทางน้ำกลัว
‘都会の子つてのは態度が恐ろしい’

8

生産的な語形成: 合成compounding (重複reduplicationを含む)

複合語compounds (重複語/量語reduplicatesを含む) の例

複合動詞	<i>lian-duu</i> (養う-見る) ‘養育する’
複合名詞	<i>mêe-nám</i> (母-水) ‘川’
複合形容詞	<i>dii-dii</i> (良い-良い) ‘普通の、陳腐な’
複合前置詞	<i>khâη-nay</i> (～の脇に-～の中に) ‘～の内側に’
複合副詞	<i>cháa-cháa</i> (遅い-遅い) ‘ゆっくり’
複合接続詞	<i>têe-wáa</i> (逆接接続詞-補語節化形式) ‘しかしながら’
複合量詞	<i>phian-khêe</i> (ただ～だけ-たった～だけ) ‘～だけ’
複合小辞	<i>rũu-kháa</i> (疑念小辞-待遇小辞) ‘～のですか’

9

複合名詞の種類 (Singnoi 2000, สิงห์น้อย2005)

1. 単純な複合名詞
 - (a) N-Nタイプ
 - (a1) 主従型 (Head-Modifier)
 - (a2) 等位型 (coordinate)
 - (b) V-Vタイプ
 - (c) VとNから成るタイプ (synthetic)
2. 複雑な複合名詞
3. 複合名詞と関係節構文の中間タイプ

10

単純な複合名詞

- (a) N-Nタイプ
 - (a1) 主従型
dòk klàap
花 バラ
‘バラの花’
 - (a2) 等位型
ηan thwaj
銀 金
‘お金’
- (b) V-Vタイプ
phim diit
タイプする 弾く
‘タイプライター’
- (c) VとNから成るタイプ
khon khàp
人 駆る
‘運転手’

11

複雑な複合名詞

- (4) [N [N N]_N]_N
[*thaη [máa laay]*]
[道 [馬 模様]_{シマウマ}]_{横断歩道}
‘横断歩道’
- (5) [[N V]_N [V [N [N V]_N]_N]_{VP}]_N
[[*rooη rian*][*sǎwη [khon [taa bǔwət]]*]]
[[館 学ぶ]_{学校} [教える [人 [目 盲だ]_{盲目}]_{盲人}]_{盲人に教える}]_{盲学校}
‘盲学校’

12

複合名詞と関係節構文の中間タイプ

- (6) 慣用的職業概念を表す複合名詞
[khon [khàp rôt]]
[人 [駆る 車]]
‘運転手’
- 「毎日車を運転する」といった副詞修飾や「車を運転し楽曲を聴く」といった動詞句の接続が不可能。統語的制約が強い (Savetamalya 1999: 642-645)。
 - 真正正銘の複合名詞(例: [khon dii] ‘善人’)と裸の関係節構文(例: [khon_i [Ø, rák rôt]] ‘車を愛する人’)の中間タイプ。
- (7) khāaw niāw
米 粘っこい
‘もち米’ / ‘粘っこい米’ / ‘米は粘っこい’

13

名詞修飾要素の分類

- 単純形式: 単一形態素、句
 - 名詞[句](類別詞句を含む)
 - 動詞[句]
 - 形容詞(指示詞、疑問詞、その他の限定詞を含む)
 - 量詞
 - 前置詞句
- 複雑形式: 連体修飾節
(=名詞化された節、名詞節 clausal noun)
- 関係節: 主名詞句が節内の動詞と文法的関係を持つ
- 名詞補語節: 何ら文法的関係を持たない

14

名詞修飾要素の用法分布

名詞修飾表現に含まれ得る 修飾要素の種類		言及機能: 名詞句用法	連体機能: 修飾用法	叙述機能: 述語用法
単純 形式	名詞(句)	✓	✓	✓ (名詞述語)
	類別詞句(名詞句の1種)	✓	✓	✓ (名詞述語)
	動詞(句)		✓	✓
	形容詞		✓	
	指示詞(形容詞の1種)		✓	
	量詞 前置詞句			✓
複雑 形式	関係節	✓ (名詞節)	✓	
	名詞補語節	✓ (名詞節)	✓	

15

名詞(句)

- (8) [plaa klùuə]
[fish salt]
塩干しの魚
- (9) [plaa [sǐi dɛɛŋ]]
[fish [color be.red]]
赤色の魚

16

動詞(句)

- (10) [khon sǔay]
[person be.beautiful]
美しい人
- (11) [khruu [sǔɔn phaasǎa]]
[teacher [teach language]]
言語を教える教師、語学教師

17

形容詞(各種限定詞を含む)

- (12) [plaa tǎaŋ-tǎaŋ]
[fish various]
様々な魚
- (13) [plaa níi]
[fish this]
この魚
- (14) [khon rǔwun]
[person other]
他の人

18

量詞

- (15) [*kùn* *satawát*]
[half century]
半世紀
- (16) [*thán* *bāan*]
[whole house]
家中

19

前置詞句

- (17) [*khǒng khwǎn* [*sǎmràp thəə*]]
[present [for PRON]]
あなたへの贈り物
- (18) [*plaa* [*khǒng chán*]]
[fish [GEN PRON]]
私の魚

20

類別詞句(名詞句の1種)

- (19) [*plaa* [*sǒng tua*]]
[fish [two CLF]]
二匹の魚
- (20) [*plaa* [*tua lék*]]
[fish [CLF be.small]]
小さい(ほうの)魚

21

等位の修飾要素の順番は変わり得る

- (21) [*plaa* [*tua lék*] [*sǒng tua*]]
[fish [CLF be.small] [two CLF]]
二匹の小さい魚
- (22) [*plaa* [*sǒng tua*] [*tua lék*]]
[fish [two CLF] [CLF be.small]]
小さい二匹の魚
- (23)[*plaa-thəəng* {[*thii chán chǒp duu*]} / [*sǒng tua*] / [*khǒng phǎw*] / [*naɯ ʔəəŋ*]] *nán*
[fish-gold {[REL PRON like see] / [two CLS] / [GEN father] / [in watertank]]] that
その{私が観るのが好きな / 二匹の / 父の / 水槽の中の}金魚
({ } の中の並び順は変わり得る)

22

関係節

- 主名詞句が節内の動詞と統語的關係(主語や目的語などの文法的關係)を持つ。
- 関係節化形式relativizerを含む関係節
 - thii*(名詞節化形式clausal nominalizer)を使う。制限的にも非制限的にも使えるが、タイ語の關係節は一般に非制限的用法が多い(Suktrakul 1975: 106)。
 - sǔng*(非制限的關係節化形式non-restrictive relativizer)を使う(ฤทธิชัย 2006: 50)。主名詞句は、通常、定性definitenessの程度が高い(เขาวงกต 2008: 207)。
 - ʔan*(類別詞classifier)を使う。現代タイ語では生起頻度が低い。文語的。主名詞句の指示物は無生物。類別詞と共起しない。
 - 関係節化形式を含まない裸の關係節

23

関係節

- 關係節構文の構成素の生起順序
「主名詞句 + (類別詞) + {∅/thii/sǔng/ʔan} + 關係節」
- 關係節の外に主名詞句がありexternal-head、主名詞句の後ろに關係節が置かれる postnominal タイプ(Keenan 1985, Lehmann 1986)。
- 類別詞があると、主名詞句の指示物はより具体的な個体として解釈される(高橋2011: 256)。

24

関係節

(24) thii関係節構文

dèk_i [thii Ø_i càp maa sǎay]
child [REL IRR come be.late]
遅れて来る子供 (子供↔遅れて来るもの)

(25) sǔn関係節構文

dèk_i [sǔn Ø_i càp maa sǎay]
child [REL IRR come be.late]
遅れて来る子供 (子供←それは遅れて来る)

(26) 裸の関係節構文

dèk_i [Ø Ø_i maa sǎay]
child [come be.late]
遅れて来る子供 (遅刻児童: 遅刻する子供一般)

25

関係節

- 関係節化形式を含む関係節は、話者のモダリティ解釈やアスペクト解釈を明示化し得る。断定性assertiveness/定形性finitenessが高い。
- 関係節化標識のない裸の関係節は、話者のモダリティ解釈やアスペクト解釈を明示化し得ない。断定性/定形性が低い。

(27) 裸の関係節構文

#dèk_i [Ø Ø_i càp maa sǎay]
child [IRR come be.late]
(意図する意味)遅れて来る子供
(「子供は遅れて来る」という叙述文に解釈される)

26

関係節

- 関係節の中に主名詞句を指示する形式が入らない空所方略を使うことが多いが、口語では主名詞句を指示する代名詞が入る代名詞残存方略も使う(Yaowapat 2005)。

(28) 空所方略gap strategy

náŋsǔw_i [thii kháw cèek Ø_i]
book [REL PRON distribute]
彼らが配る本

(29) 代名詞残存方略pronoun retention strategy

náŋsǔw_i [thii kháw cèek man_i]
book [REL PRON distribute PRON]
彼らが(それを)配る本

27

関係節

- 名詞句接近度階層Noun Phrase Accessibility Hierarchy (Keenan and Comrie 1977)の最上位にある最も修飾されやすい主格名詞句Subjectから最下位にある最も修飾されにくい比較対象物格名詞句Object of Comparisonまで、全ての格の名詞句が修飾され得る (Sornhiran 1978: 144-145, Yaowapat and Prasithratsint 2008)

(30) 比較対象物格名詞句Object of Comparison

khon_i [thii chán kèn kwà Ø_i]
person [REL PRON be.smart than]
私が(その人)より上手い人

28

関係節構文の各タイプの特徴 (高橋2011: 272)

- thii関係節は、主名詞句を制限的に修飾する(指示領域を制限すること)もあれば、非制限的に修飾する(情報を付加すること)もある。補足的言い換えに似ている。話し手が意図した特定の指示物の顕著な特徴(特筆性noteworthiness (Ionin 2006))を表現する。
- sǔn関係節は、主名詞句を非制限的に修飾する(情報を付加する)。主名詞句を主題とし、その主題について評言を添える。
- 裸の関係節は、複合名詞の構成素と同様、常に非定形で、話し手によるアスペクト解釈やモダリティ解釈を明示化できない。かなり慣用化され固定化された紋切り型の概念(抽象レベルの類型的概念として定着している概念)を表すのに適している。

29

関係節構文の各タイプの特徴

- thii関係節構文
「特定名詞句」と「特筆的内容を添える名詞句」という2つの構成素が並列関係で結ばれた構文。
- sǔn関係節構文
「主題名詞句」と「評言補文節」という2つの構成素が弱い従属関係で結ばれた構文。
- 裸の関係節構文
話し手のアスペクト解釈やモダリティ解釈を含み得ない複合名詞に近い構文。

30

関係節構文の各タイプの特徴

- *thii*関係節は自立度が高く、主名詞句との結び付きが弱い
ため、間に副詞類の挿入を許す。
(31) [*lǎay ləm*]_i *thii-diaw* [*thii* ∅_i *sanùk*]
[many CLF] quite [REL be.enjoyable]
面白まったくもって多くの本(多くの本↔面白いもの)
- *sǔn*関係節は自立度が弱く、主名詞句との結び付きが強
いため、間に副詞類の挿入を許さない。
(32) * [*lǎay ləm*]_i *thii-diaw* [*sǔn* ∅_i *sanùk*]
[many CLF] quite [REL be.enjoyable]
(意図する意味)面白まったくもって多くの本

31

名詞補語節

- 主名詞句が節内の動詞と何ら文法的関係を持たない
(Givón 1990: 509, 645–698; Kullavanijaya 2008: 448)。
- 外の関係(内容補足的修飾)(寺村1992: 192–205)を表す。
ふつうの内容補充(例:「太郎が結婚している(という)事
実」)の他、相対的補充(例:「先頭集団が走っている前」
「火事が広がった原因」)も表し得る。
- 名詞補語節構文に生起可能な構成素の生起順序:「主名
詞句 + *thii* + 名詞補語節」
- 通常、名詞補語節化形式 noun complementizer が必要。現
代タイ語では *thii* (名詞節化形式 clausal nominalizer) を使う。
類別詞と共起しない。

32

名詞補語節

- (33) ふつうの内容補充
rǔwaj [*thii* *khǎw mii kh-rǔwaj-khrua léew*]
story/fact [COMP PRON exist family PFV]
彼にはすでに家族があるという(話/事実)
- (34) 相対的補充
sǎahèet [*thii* *khǎw tǔn daan-thaan pay*]
cause [COMP PRON must travel go]
krun-théep
Bangkok
彼がバンコクに行かなければならなかった原因

33

まとめ タイ語の名詞修飾要素の機能体系

	複合語(紋切り型)のモノ概念)
↑ ↓ 個 一 般 的 修 飾 形 式	「名詞+名詞/動詞」e.g.(8)(10) 主名詞の指示物は類型概念として一般化されたもの。 (一般的分類としての修飾)
	「名詞句+形容詞/前置詞句/類別詞句」「量詞+名詞」e.g.(12)(15)(17)(19) 話者の見方が反映される。 (ある基準や図式を背景にして相対的に描写するための修飾)
↑ ↓ 個 別 的 修 飾 形 式	「名詞句+指示詞/疑問詞/その他の限定詞」e.g.(13)(14) 主名詞句の指示物は当該談話文脈の中で同定できる具体的なもの。 (限定するための修飾)
	「名詞句+(類別詞)+{∅/thii}+節」e.g.(26) (限定するための修飾) 「名詞句+(類別詞)+{thii/sǔn}+節」e.g.(25)(33) (情報を付加するための修飾)
	主題+評言(話者の主観的把握)

34

参照文献

英語

- Bisang, Walter. 2007. Categories that make finiteness: Discreteness from a functional perspective and some of its repercussions. In Nikolaeva, Irina (ed.) *Finiteness*, 115–137. Oxford: Oxford University Press.
- Givón, Talmy. 1990. *Syntax: A Functional-Typological Introduction, Volume 2*. Amsterdam: John Benjamins.
- Ionin, Tania. 2006. *This is definitely specific: Specificity and definiteness in article systems*. *Natural Language Semantics* 14: 175–234.
- Keenan, Edward L. 1985. Relative clauses. In Shopen, Timothy (ed.) *Language Typology and Syntactic Description, Vol. 2: Complex Constructions*, 141–170. Cambridge: Cambridge University Press.
- Keenan, Edward L. and Bernard Comrie. 1977. Noun Phrases Accessibility Hierarchy and Universal Grammar. *Linguistic Inquiry* 8: 63–99.
- Kullavanijaya, Pranee. 2008. A historical study of /*thii*/ in Thai. In Diller, Anthony V. N. et al. (eds.) *The Thai-Kadai Languages*, 445–467. London: Routledge.
- Lehmann, Christian. 1986. On the typology of relative clauses. *Linguistics* 24: 663–680.
- Savetamalya, Saranya. 1999. Verbal relative clauses as adnominal modifiers in Thai. In Institute of Language and Culture for Rural Development, Mahidol University at Salaya, Thailand (ed.) *Pan-Asiatic Linguistics: Proceedings of the 4th International Symposium on Languages and Linguistics, Vol. 2, January 8-10, 1996*, 627–646.
- Singnoi, Unchalee. 2000. *Nominal Constructions in Thai*. Ph.D. dissertation, University of Oregon.
- Sornhiran, Pasinee. 1978. *A Transformational Study of Relative Clauses in Thai*. Ph.D. dissertation, University of Texas at Austin.
- Suktrakul, Suthinee. 1975. *A Contrastive Analysis of Relative Clauses in Thai-English*. Ph.D. dissertation, Rutgers University.

35

参照文献

- Yaowapat, Natchanan. 2005. Pronoun retention in Khmer and Thai relative clause. In Sidwell, Paul (ed.) *SEALS X V: Papers from the 15th Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society*, 121–132. Canberra: Pacific Linguistic.
- Yaowapat, Natchanan and Amara Prasithrathasint. 2008. A typology of relative clauses in mainland Southeast Asian languages. *Mon-Khmer Studies* 38: 1–23.

日本語

- 高橋清子. 2011. 「タイ語の関係節構文」長谷川信子(編)『70年代生成文法再認識: 日本語研究の地平』, 253–275. 東京: 開拓社.
- 寺村秀夫. 1992. 『寺村秀夫論文集 I – 日本語文法編 –』東京: くろしお出版.

タイ語

- Kullavanijaya, Pranee. 2006. *ประเภทประโยคและคำเชื่อมในภาษาไทย*. [Attributive clause constructions: Relative clauses and noun complement clauses]. In Prasithrathasint, Amara (ed.) *หน่วยสร้างประโยคและคำเชื่อมในภาษาไทย: หน่วยสร้างประโยคและคำเชื่อมในภาษาไทย และหน่วยสร้างประโยคและคำเชื่อมในภาษาไทย* [Controversial Constructions in Thai Grammar: Relative Clause Constructions, Complement Clause Constructions, Serial Verb Constructions, and Passive Constructions], 7–65. Bangkok: Chulalongkorn University Press.
- Prasithrathasint, Amara. 2010. *หน่วยสร้างประโยคและคำเชื่อมในภาษาไทย* [Parts of speech in Thai: A syntactic analysis]. Bangkok: A.S.P. Publishers.
- Singnoi, Unchalee. 2005. *คำรวมประโยค: ศาสตร์และศิลป์ในการสร้างคำใหม่* [Compound Nouns: Science and Art of Thai Word-formation]. Bangkok: Chulalongkorn University Press.
- Yaowapat, Natchanan. 2008. *พัฒนาการของหน่วยคำเชื่อมในภาษาไทย* [The Development of the Multiple Functions of /*sin*/ in Thai]. Ph.D. dissertation, Chulalongkorn University.

36